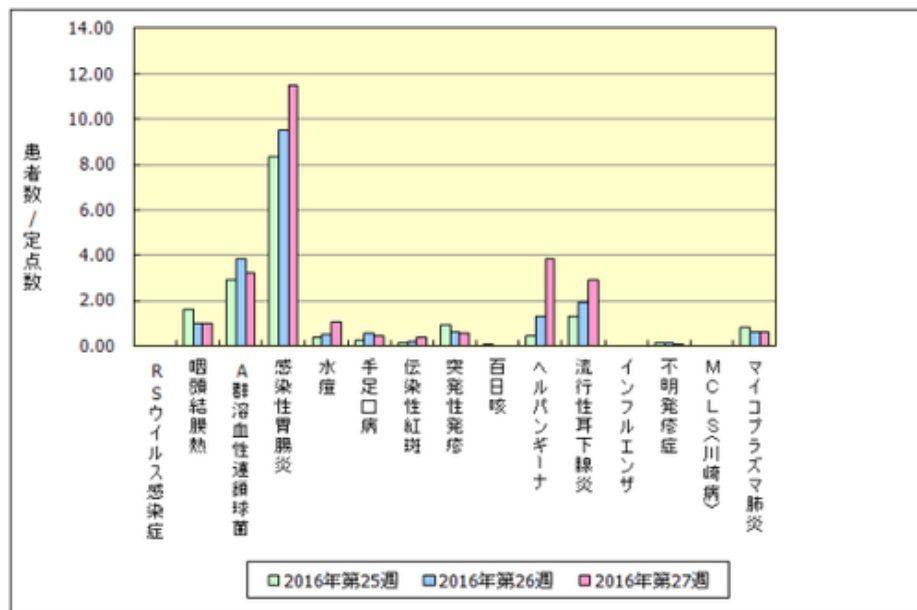


第27週(7月4日～7月10日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

- 感染性胃腸炎は、定点あたり11.5人で、先週(定点あたり9.5人)と比べて、再び増加しました。
- ヘルパンギーナが流行しています。定点あたり3.9人と、先週(定点あたり1.3人)と比べ急増しています。6歳未満が9割以上を占めています。
- 流行性耳下腺炎が、定点あたり2.9人で、先週(定点あたり1.9人)と比べ増加しました。潜伏期間が2～3週間と長く、症状出現の1～2日前から感染性があります。そのため、小学校等の集団の場では、1人が発病すると、その後数週間から数か月に渡り、患者の発生が続くことがあります。利用者・職員への周知を徹底し、早期発見(受診)を促すことも、感染症対策の1つです。
- 感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。



第27週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第22週	2016年 第23週	2016年 第24週	2016年 第25週	2016年 第26週	2016年 第27週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	0→	0→	0→	0→	0→	0→	71
咽頭結膜熱	15↓	20↑	28↑	23↓	14↓	14→	263
A群溶血性連鎖球菌	37↓	48↑	68↑	41↓	54↑	45↓	1108
感染性胃腸炎	189↑	154↓	165↑	117↓	133↑	161↑	3818
水痘	1↓	5↑	5→	5→	7↑	15↑	161
手足口病	1↓	0↓	3↑	4↑	8↑	6↓	39
伝染性紅斑	1↓	4↑	2↓	2→	3↑	5↑	123
突発性発疹	9↑	13↑	8↓	13↑	9↓	8↓	199
百日咳	0→	0→	0→	1↑	0↓	0→	23
ヘルパンギーナ	0↓	0→	4↑	6↑	18↑	54↑	88
流行性耳下腺炎	24↑	19↓	22↑	18↓	27↑	41↑	478
インフルエンザ	0↓	0→	1↑	0↓	0→	0→	6929
不明発疹症	3↑	2↓	4↑	2↓	2→	1↓	52
MCLS(川崎病)	0→	1↑	0↓	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	12↑	12→	12→	11↓	9↓	9→	292

第27週疾患毎発生状況表

第27週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	(川崎病)MCLS	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	0	2	0	18	0	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0
1歳	0	3	0	30	0	1	0	4	0	21	0	0	0	0	0
2歳	0	2	3	20	0	1	0	2	0	10	1	0	0	0	0
3歳	0	1	5	22	0	1	1	1	0	10	7	0	1	0	0
4歳	0	0	8	10	2	1	2	0	0	6	4	0	0	0	2
5歳	0	4	6	11	4	0	1	0	0	1	8	0	0	0	1
6歳	0	1	9	11	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0
7歳	0	0	1	7	2	0	0	0	0	0	8	0	0	0	2
8歳	0	0	5	11	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1
9歳	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1
10～14歳	0	1	4	8	2	0	1	0	0	1	3	0	0	0	2
10～12歳											0				
13～14歳											0				
15～19歳	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	0	14	45	161	15	6	5	8	0	54	41	0	1	0	9

第27週年齢別発生状況表